

2025 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社アゴーラ ホスピタリティー グループ
 代表者名 代表取締役会長 ウィニー・チュウ・ウィン・クワン
 (コード：9704、東証 スタンダード)
 問合せ先 財務経理部 部長 石井 伸幸
 (TEL. 03-3436-1860)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2025年2月14日に公表しました「2025年12月期の連結業績予想」を修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025 年 12 月期連結業績予想値 (2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,200	650	650	350	1.38
今回業績予想 (B)	9,500	850	800	1,400	5.25
増減額 (B-A)	300	200	150	1,050	
増減率 (%)	3.3%	30.8%	23.1%	300.0%	
(ご参考) 前期実績 (2024年12月期)	8,377	501	248	108	0.43

2. 修正の理由

2025 年 12 月期第 3 四半期連結累計期間の売上高につきましては、ホテル事業を中核とするグループの売上高は訪日外国人観光客数の堅調な増加に支えられ好調に推移し、7,350 百万円（前年同期比 22.7% 増）となりました。

利益面では、営業利益が 795 百万円（前年同期は 131 百万円）と前年同期比で 503.1%の増加となり売上の増加に加え、販管費の抑制がその主な要因となりました。経常利益は 769 百万円（前年同期は 162 百万円）となり、前年同期比で 374.8%増と大幅な増加となりました。これは持分法による投資利益として 61 百万円、違約金収入として 59 百万円を営業外収益に計上した一方、支払利息を 119 百万円営業外費用に計上したことなどによります。また、特別利益としてアゴーラプレイス難波における未払い債務の清算にともなう債務免除益 1,113 百万円を計上するなどした結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は 1,432 百万円となりました。

通期業績につきましては上記を背景に引続き売上高は堅調に推移し、販管費などの費用の抑制に努めることで、売上高および利益が当初予想を上回る見込みとなったため、業績予想の修正を行うことといたしました。

以 上